



TITLE:

図書室めぐり 教養部図書室

AUTHOR(S):

CITATION:

図書室めぐり 教養部図書室. 静脩 1978, 15(1): 6-6

ISSUE DATE:

1978-04

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/36797>

RIGHT:

教 養 部 図 書 館

1. は じ め に

教養部図書館が新営開館されて、この5月で6年目に入った。以前のグランド横にあった小さな図書館と比較すると、規模・設備など想像もできない程整備された。またこの間に開館日数の増加など、サービスの面でも一定の改善がなされた。

以下昭和52年度の利用統計を中心に若干の問題点にふれてみたい。

2. 入 館 者 数

教養部図書館は、536席と学内最大の閲覧座席数を有しているが、これでも教養部学生数5,027人に対して約1割しかない。一日平均入館者数が1,924人（入館者カウント装置でチェックしている）で、試験期になると一日4,500人を越える日もしばしばある。特に試験期とか雨天の日などには、一時的であるが満席となり席さがしに苦勞している学生もみうけられる。こうした光景は図書館にとって嬉しい悲鳴といえるかもしれないが、まだまだ座席数が不十分といわざるを得ない。

3. 貸出冊数の改善

図書の利用を統計的数字から見ると、一日平均館内閲覧34,9人、50,7冊、館外貸出59,1人、67,5冊となっている。これらの数字を入館者数と比較して見ると、大半の学生はカウンターを素通りして、閲覧室で自習（席借）していることになる。

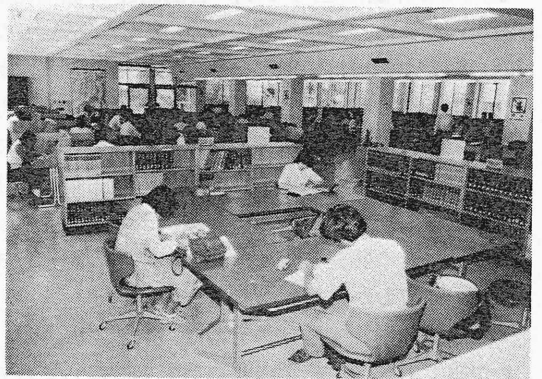
図書館としては、一人でも多くの学生が図書館の資料を活用してくれることを望んでおり、いくつかの改善を計画している。その一つは参考図書コーナーの充実である。現在は約1,200冊配架されているが、将来はもっと冊数をふやして利用し易くしたい。その他に貸出冊数制限の緩和を計画している。現在の教養部図書館利用規定では、学生の図書貸出冊数が平日一冊、休業中は三冊以内となっている。この冊数では今や現実にはそぐわないものであり、また学生の学習意欲も半減するで

あろう。事務上の手続・準備も必要であり、昭和54年度から実施できるよう計画を進めている。

4. 外国語学習用テープ

教養部図書館では、教養課程で履修しなければならない外国語（英・独・仏・中・露）の実習に必要な語学テープ（I・C・E）およびテキストの貸出をしている。また館内では視聴覚室（カセットテープレコーダー8台、オープンテープレコーダー2台、レコードプレーヤー1台）でこれらのテープの利用が可能である。

昭和52年度の統計では、館内利用1,010件、館外貸出1,571件（内284件は学部学生および職員）となっている。教養部図書館は、学内唯一の語学



テープを利用できる図書館であり、利用者の皆さんから好評をいただいている。最近各テープの利用頻度がはげしいため、摩耗・音の歪みがめだち交換を必要としている。また来年度からは、前記以外の外国語学習テープも利用できるように準備を進めている。

5. お わ り に

教養部図書館では、「学習図書館」として学生用図書の充実はもちろんのこと、一般教養書についても十分とはいえないまでも、かなり豊富に揃っているの、気軽に利用していただきたい。